

月刊
丸森とザンビア



第2号
(発行/お問合せ)
丸森町企画財政課
TEL 0224-72-3024
耕野振興会
耕野まちづくりセンター
TEL 0224-75-2134

9月、丸森に4名のザンビア研修生が来ます

今年度から丸森で始まった、アフリカ・ザンビア共和国との事業、通称「ザンビア丸森プロジェクト」。早速、9月に丸森でのザンビ



ア研修生の受け入れが予定されています。今年度はまず、舘矢間・大張・耕野の3地区に協力いただき、実施団体として「研修受入実行委員会」を開催、また、国際技術協力の分野やザンビアの事情に詳しい外部の先生方に専門家としてお越しいただき、「プロジェクト支援委員会」を数回開催してきました。さらに、研修期間中は、「丸森こらいんツーリスト」さんをお願いし

て、研修生向けの、町内各所を巡る視察研修ツアーをおこなう予定です。そして肝心の現地・ザンビアとは、インターネットビデオ電話スカイプで定期的に打合せを実施、9月の受け入れに向けて急ピッチで準備中です。



現地より活動レポート
「社会調査」



7月は主に「社会調査」を実施しました。これは、現地で活動をする前に、対象となる地域の住民さんの現状や課題を知るためのもので、インタビュー形式でおこないました。

7月19日から6日間、ザンビア青年海外協力隊の2年間の任期を終え帰国した4名の若者が、丸森の体験ツアーに参加しました。農作業のお手伝いのほか、舘矢間・大張・耕



青年海外協力隊OB向け・丸森ミニツアー

野地区を訪問、地域のみなさんと交流していかれました。滅多にない機会で、双方にとって実りあるツアーとなりました。



ザンビアの主食

シマを作って食べる会

～お試し版イベント～



※シマ：とうもろこしの粉をお湯で練ったもの。

7月23日、舘矢間まちづくりセンターで、ザンビアの主食「シマ」を作って食べる会を試験的におこないました。中部大学講師の香西はなさんに先生としてお越しいただき、「シマ」とザンビアの定番おかず2品を皆で調理・試食しました。「シンプルな味付けなのに、意外と美味しくてクセになりそう」という感想も。今後も開催予定ですのでお楽しみに♪

「教育は人生の財産」

私の活動するチランガ郡は、農業に適した環境で農業生産高が増加しているにも関わらず、それが貧しい農村部の収入向上に直結していません。そこには、生産性・付加価値・投資・マーケティング・製品の輸送体制・貯蔵設備・調理と家事の知識…といった他分野に渡る課題があります。ですから今回の、丸森の在来技術を活用した事業を提案していただき、とても幸運に感じています。

教育は、家族や地域にとって非常に大事な財産で、貧困からの脱却や生活の安定へつながるものです。チランガ郡の貧しい農村部を変える助けとなる、日本の知恵と技術に触れることを楽しみにしています。

JAPAN HERE I COME 日本にいくぞ！

※英語の全文は耕野地区のFACEBOOKページ「ころたけくの里ど〜もないん！耕野」でご覧いただけます。

チランガ郡（本プロジェクトの対象地域）で農業普及員を務めているアンナ・ナワさん。ナワさんは、9月からの丸森研修に参加予定です。研修直前の彼女から、丸森のみなさんへメッセージです！

現地の仲間を紹介します



ザンビアの一般的な食事をご紹介します。だいたい一日2食で、一回の食事に主食（シマ・芋・米）、おかず1〜2品、そこへたまに肉が加わるという献立です。薄味の味付けなので、テーブルで各自が、塩やスパイスで味を調整します。

今月のテーマ
ザンビアで発見

この事業では、丸森の昔ながらの農業技術や暮らしの知恵をザンビアに紹介、現地農村の収入向上や栄養改善につなげ、同時に丸森の地域活性化も目指します。一方的な支援でなく、双方がプラスになる狙いのJICA採択事業です。